

目的：サブサハラアフリカ地域における婚姻関係を結んでいない性交渉相手とのパートナーシップ形成過程を、国単位での性行動調査データを用い明らかにする。

方法：婚姻関係を結んでいない性交渉相手とのパートナーシップ形成過程は非定常ポアソン過程で現せるとして数理モデルを構築した。構築された数理モデルをサブサハラアフリカ25カ国の性行動調査データに適用し、国別での12ヶ月間で新しく誕生した非婚姻関係の性交渉パートナーシップ数の平均と分散を推定した。

結果：我々の提案したモデルは未婚者、既婚者、性別を問わず、性行動データと良くあてはまっていた。新しく形成された国別平均パートナーシップ数の25カ国間における中央値は、0.574と未婚男性が最も高く、未婚女性(0.337)、既婚男性(0.192)、既婚女性(0.038)と続いた。国別パートナーシップ数の分散に関しては未婚男性が最も高く(0.127)、既婚男性(0.057)、未婚女性(0.003)、既婚女性(0.000)と続いた。国の違いによる平均パートナーシップ数のばらつきは未婚男性が最も大きく(0.103から1.206)、分散のばらつきは未婚女性が最も大きかった(0.000から1.994)。

結論：非婚姻関係の性交渉パートナーシップは偶然の効果に大きく左右される確率論的な現象である。また、サブサハラアフリカ地域では、非婚姻関係の性交渉パートナーシップ数の平均、分散共に、国、当事者の婚姻状況、性別によって大きく異なり、未婚者は既婚者よりも平均パートナー数が大きく、また男性の方が女性よりも平均パートナー数が大きい。未婚者の性行動が性的関係ネットワーク、ひいては性感染症の流行を決定づける大きな役割を果たしている事が示唆される。

---

This abstract has been translated and adapted from the original English-language content. Translated content is provided on an "as is" basis. Translation accuracy or reliability is not guaranteed or implied. BMJ is not responsible for any errors and omissions arising from translation to the fullest extent permitted by law, BMJ shall not incur any liability, including without limitation, liability for damages, arising from the translated text.